



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東
 コード番号 6078 URL <http://www.valuehr.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 遠藤 良恵 TEL 03-6380-1300
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	706	13.2	119	△2.2	110	△3.3	69	△6.1
28年12月期第1四半期	623	6.8	121	1.2	114	△8.9	73	4.7

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 76百万円 (20.3%) 28年12月期第1四半期 67百万円 (2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	24.45	23.03
28年12月期第1四半期	26.67	24.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	5,445	2,035	37.3	719.00
28年12月期	5,060	2,045	40.4	721.46

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 2,032百万円 28年12月期 2,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	12.50	—	23.00	35.50
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	14.50	—	23.00	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※配当予想の修正については、本日（平成29年5月15日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,409	12.0	159	△15.3	143	△15.6	90	△8.2	31.77
通期	2,858	11.2	403	2.1	375	4.8	239	11.3	84.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注）詳細は、添付資料の3ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	2,836,200株	28年12月期	2,834,600株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	9,434株	28年12月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	2,833,645株	28年12月期1Q	2,766,979株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府が推進する経済政策や日銀による金融緩和政策を維持し、企業収益や雇用の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下2つの事業セグメントにより展開しております。

バリューカフェテリア事業

主に健康診断の予約や結果管理、結果に基づく保健指導の運営管理等の機能をもつバリューカフェテリア®システムの提供を軸に健康診断や健康行動に関するデータ管理、並びに企業や健康保険組合の健康管理業務のアウトソーシングの受託を行っております。

HRマネジメント事業

主に健康保険組合の新規設立支援コンサルティング及び健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣等の業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、バリューカフェテリア®システムの新規導入団体の増加及び既存顧客団体サービス利用が伸び、関連収入が増加しました。

企業や健康保険組合向けの健康診断の実施に係る代行業務では、取扱業務の増加により健康診断データの管理収入をはじめとする事務代行料等の売上が増加しました。また、健康保険組合運営支援関連では、新たに設立された健康保険組合事務局への人材の派遣による派遣収入の増加や健康保険組合の設立支援コンサルティングの新規受注などにより、売上高は堅調に推移しました。一方で営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益の減少に関しては、主にHRマネジメント事業において新規設立の健康保険組合運営支援の増加に伴う増員及びオフィス増床による費用の増加のほか、営業活動に係る販売費の増加等によるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は706,246千円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は119,262千円（同2.2%減）、経常利益は110,732千円（同3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69,285千円（同6.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

バリューカフェテリア事業

当第1四半期連結累計期間は、既存顧客のカフェテリアサービスの利用が堅調に推移しました。また、契約団体への健康診断の実施に係る代行業務では、健康診断データの管理収入をはじめとする事務代行料等の収入が増加しました。これにより、売上高は541,425千円（前年同四半期比17.7%増）、営業利益は203,305千円（同20.2%増）となりました。

HRマネジメント事業

当第1四半期連結累計期間は、主に前連結会計年度に開設された健康保険組合事務局への人材派遣が増加しました。また、新規設立の健康保険組合運営支援の増加に伴う増員及びオフィス増床により費用が増加しております。これにより、売上高は164,820千円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は40,931千円（同27.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,406,941千円(前連結会計年度末は2,061,221千円)となり、345,720千円増加しました。これは、現金及び預金が82,828千円減少しましたが、第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動資産に含まれる未収入金が383,046千円増加したこと等が主な要因です。固定資産は3,038,742千円(前連結会計年度末2,999,149千円)となり39,592千円増加しました。これは、投資有価証券が24,283千円増加したこと、有形固定資産及び、無形固定資産が11,730千円増加したことが主な要因です。これらの結果、総資産は5,445,683千円(前連結会計年度末は5,060,371千円)となり、385,312千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,348,081千円(前連結会計年度末は1,893,958千円)となり、454,122千円増加しました。これは、預り金132,324千円の増加、並びに第1四半期連結累計期間はカフェテリアサービス利用のピーク時期にあたることから、その他の流動負債に含まれる未払金188,339千円が増加したこと及び営業預り金131,062千円が増加したこと等が主な要因です。固定負債は1,062,505千円(前連結会計年度末は1,120,447千円)となり、57,941千円減少しました。これは、主に長期借入金58,512千円の返済によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,035,096千円(前連結会計年度末は2,045,964千円)となり、10,868千円減少しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益69,285千円、その他有価証券評価差額金7,671千円の増加及び、配当金65,195千円の支払、自己株式24,965千円の取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成29年2月14日付発表「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,058	1,524,229
売掛金	234,717	254,396
商品	103	3,251
仕掛品	4,562	8,452
貯蔵品	4,299	13,195
その他	210,478	603,415
流動資産合計	2,061,221	2,406,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	734,174	734,278
土地	1,383,681	1,383,681
その他(純額)	63,854	72,724
有形固定資産合計	2,181,710	2,190,684
無形固定資産	147,431	150,188
投資その他の資産		
投資有価証券	513,298	537,581
その他	156,709	160,287
投資その他の資産合計	670,008	697,869
固定資産合計	2,999,149	3,038,742
資産合計	5,060,371	5,445,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,218	143,427
短期借入金	245,152	244,048
未払法人税等	87,924	46,464
預り金	694,901	827,225
その他	777,762	1,086,916
流動負債合計	1,893,958	2,348,081
固定負債		
長期借入金	1,005,704	947,192
その他	114,743	115,313
固定負債合計	1,120,447	1,062,505
負債合計	3,014,406	3,410,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,733	472,035
資本剰余金	515,645	515,946
利益剰余金	1,043,677	1,047,768
自己株式	△58	△25,023
株主資本合計	2,030,998	2,010,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,051	21,723
その他の包括利益累計額合計	14,051	21,723
新株予約権	914	2,646
純資産合計	2,045,964	2,035,096
負債純資産合計	5,060,371	5,445,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	623,998	706,246
売上原価	345,260	398,299
売上総利益	278,737	307,946
販売費及び一般管理費	156,794	188,684
営業利益	121,943	119,262
営業外収益		
受取利息	98	11
受取配当金	308	420
未払配当金除斥益	—	426
その他	820	1,134
営業外収益合計	1,228	1,992
営業外費用		
支払利息	7,633	5,962
事務所移転費用	—	2,942
その他	997	1,617
営業外費用合計	8,631	10,522
経常利益	114,540	110,732
特別利益		
新株予約権戻入益	290	305
特別利益合計	290	305
税金等調整前四半期純利益	114,831	111,037
法人税等	41,031	41,752
四半期純利益	73,799	69,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,799	69,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	73,799	69,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,626	7,671
その他の包括利益合計	△6,626	7,671
四半期包括利益	67,173	76,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,173	76,956
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフ テリア事業	HRマネジ メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	460,118	163,879	623,998	—	623,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	460,118	163,879	623,998	—	623,998
セグメント利益	169,134	56,249	225,384	△103,440	121,943

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,440千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフ テリア事業	HRマネジ メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	541,425	164,820	706,246	—	706,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	541,425	164,820	706,246	—	706,246
セグメント利益	203,305	40,931	244,237	△124,975	119,262

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,975千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。